

“ホームページのご案内”

インターネットの良いところは、色々な情報に簡単にアクセス出来る事です。その反面、情報の氾濫が起きており、どの情報が正しく、何が間違っているかを専門家以外が判断するのは非常に難しくなっており、医療に関しても、正しいデータに基づいたものから、全くの眉つば情報までが溢れかえっているのが現実です。

人工関節でも、過剰な宣伝で患者さんを多数集めて、雑な治療をしている病院もあり、それによるトラブルで苦しんでいる患者さんが、少数ならずいらっしゃるのも残念ながら現実です。

我々は、皆さまの口コミや近隣の先生方からの紹介で地域に根ざして地道に頑張ってきましたが、皆さまからの要望もあり、関節の病気や人工関節の説明を含めたホームページを作成しましたので、Yahooなどで「相原病院人工関節センター」で検索してみてください。

URL: <http://aiharajoint.com/>

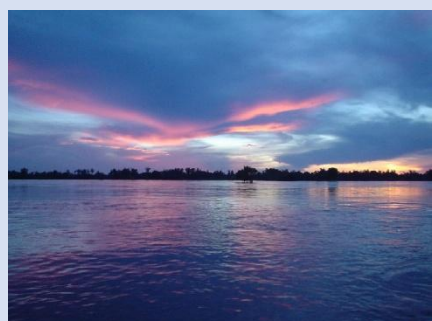


センター長の海外探訪記 “カンボジアの巻”

カンボジアは、内戦で国土と国民が疲弊しましたが、アンコールワットなどの観光資源もあり、しかも、国民性がマイルドでとてもほのぼのした国です。

アンコールワットのあるシェムリアップという小さな街には世界中から観光客が集まっています。ホテルも一泊数百円から数万円まで様々です(ちなみに私は一泊10\$でしたが)。象に乗って近くの小山に登ってアンコールワットの夕陽を見るツアーもあります。私はこの町で10日ほど現地の子供病院で手術などのボランティアをした経験があります。

首都のプノンペンにはポル・ポト時代の暗い時代を残す博物館から、フランス統治時代の歴史を感じさせる建物、メコン川には絶滅寸前の川イルカもいます。食べ物はタイほど辛い、あっさり中華的で日本人の口に合うともお薦めの国です。



この新聞の名称「ぶらな」とは、仏教の元言語となるサンスクリット語で“空気”や“清浄な気”を示す言葉です。我々は、関節や脊椎疾患に負けずに積極的に人生を楽しんでいきたい！と考えている“強い気を持っている方々”を応援する為に、色々な形で情報を発信していこうと考えています。

こんな情報が欲しい、こんな事をして欲しいなど希望がありましたら、お気軽にファックスでお伝えください。

「ぶらな」

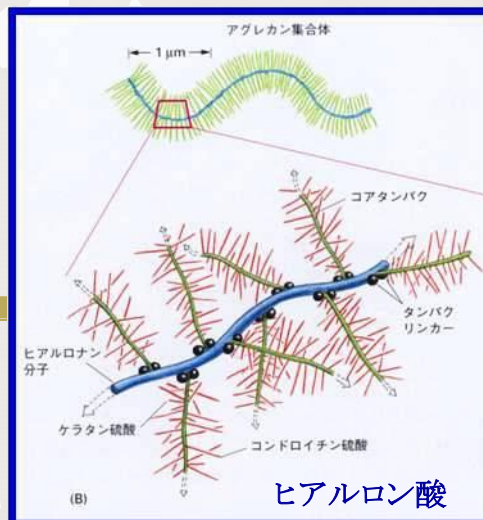
“人生を積極的に生きる人を応援する医療情報誌”

相原病院・人工関節センター新聞
第七号
2011年11月吉日

震災から半年以上が過ぎても、現地はまだまだ安心の出来る状況とは思えませんし、原発問題はこれからの我々の生活だけでなく、生き方にも大きく影響する問題として暗い影を落としています。多くのエネルギーを求める生活から、地に足の着いた着実な生活と経済発展の両立。非常に難しい問題ですが、すべての基本は我々が健康に活動出来ることだとあらためて感じる今日この頃です。

“グルコサミンやヒアルロン酸の内服は効果がありますか？”

コンドロイチン、グルコサミンなどのコラーゲンは、とても長く羽根の様な分子構造を持っており、その羽根の部分に水分子を大量に蓄えられるのが特徴です。1グラムのヒアルロン酸は6リットルの水分を貯水できると言われています。



食べた物は、胃腸内で細かく分解された上で吸収されます。ですから、体内に吸収された時点で、この『羽根の様な構造』は無くなっていますので、残念ながら、食べた軟骨がそのまま膝や股関節や椎間板に移動して、傷んだ軟骨と置き換わるのは、科学的に考えにくいというのが現在の一般的な科学者に共通する見解です。つまり、お肉を食べないお坊さんでも、筋肉が無くなるのと同じ理屈ですね。

ヒアルロン酸を直接関節内に入れる注射での注入は整形外科では20年以上前から行われている一般的な治療方法です。高分子のヒアルロン酸も直接関節内に入れれば、潤滑液や炎症を抑える役割を果たせます。

非常に早期の変形性関節症の患者さんにおいては、症状改善がみられたとの古い報告がありますので、全く効果が無いとまでは言い切れませんが、2005年以降の最近のデータを見る限り、内服の効果に関しては否定的な報告が多いですから、過剰な期待はせずに、余裕のある方は「関節痛や腰痛が楽になったら儲けもの！」ぐらいに大らかな気持ちで飲まれるのがいいかと思います。

国立健康・栄養研究所のホームページ(<http://hfnet.nih.go.jp/>)に詳しく載っていますので、ご興味のある方はアクセスしてみてください。



近隣病院の人工関節手術数 (平成21年度)

病院名	症例数
相原病院 (H22年度)	136
(H21年度)	98
箕面市立病院	35
ガラシア病院	94
国立刀根山病院	42
市立豊中病院	80
市立池田病院	61
市立川西病院	34
市立伊丹病院	201
宝塚市立病院	16
北野病院	128
住友病院	121
済生会千里病院	48
豊中若葉会病院	16



医療法人 啓明会
相原病院
Provides the best medical service

人工関節に特化した「人工関節センター」と乳がん診療に特化した「プレストセンター」を開設しており、より高度な専門医療を提供しております。

- 関節外来：岡 史朗 月・火・水曜午前9時から12時
- 関節外来：相原雅治 水・木・金曜午前9時から12時
- 脊椎外来：加藤泰司 毎週火曜 午後4時半から7時
- 理学療法士：岡本浩明・樋口慧
- 診察時間：平日午前9時から12時、午後4時半から7時 (水曜夜診休診)

土曜午前9時から12時 (祝日休診)
相原病院・人工関節センター tel. 072-723-9000
箕面市牧落3-4-30 fax. 072-723-9052
ホームページ: <http://www.aiharahp.com/>

“第38回 日本股関節学会”

リハビリテーション科・理学療法士 岡本浩明 樋口慧

理学療法士 岡本浩明

平成23年5月某日…

『あっ！学会発表の準備が出来てない！』

こんな一場面から、日本股関節学会での発表への道のりがスタートしました。ちなみにこの時点で、申し込みの締め切りまで約2ヵ月…急ピッチで準備をすすめデータを集積して、なんとか演題が採用されました。日本股関節学会は医師の学会なのですが、毎年行われる総会にはリハビリ部門と看護師部門の発表の場が与えられているのが特徴なのです。

日々のリハビリ業務の中で、患者さんと正面から向き合い、少しでも患者さんが良くなる為には、どのような理学療法を提供すれば良いのか…これを生涯考え続けることが、理学療法士の使命だと思っています。

ただ、思い込みや経験だけでは本当に正しいリハビリを皆さんに提供出来ているとは言えません。今回はそうやって患者さんと考えてきた答えの1つを、データを取り、過去の論文などと照らし合わせ、我々なりに考えた結果を発表しました。発表後には他施設の方々から意見や質問をいただけ、個人的には大成功を収められたと思います。

当センターにて理学療法を受けられた患者の皆さま、ご協力有難うございました！

理学療法士 樋口慧

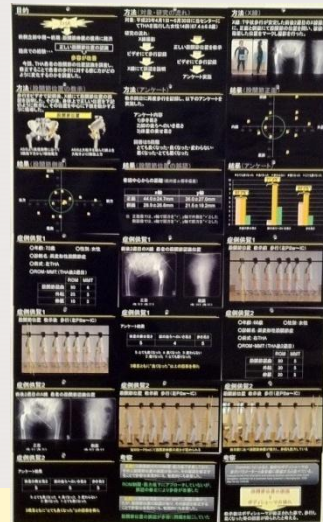
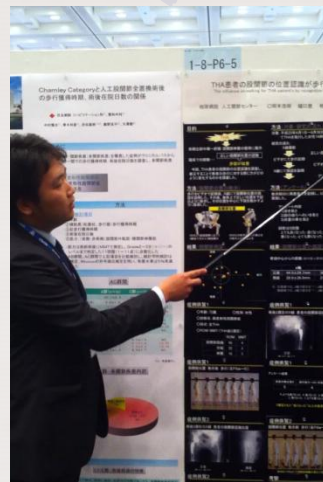
平成23年10月7日、日本股関節学会の発表当日…

『ついに、この日きた！』と朝からドキドキでした。

当院からの発表は、相原センター長、福田看護主任、岡本療法士からの計3題です。私は主に岡本療法士の研究を主に手伝いました。

諸先輩方の発表が近づくにつれ、なぜか聴講者である自分の方が緊張をしてしまうという事態に…。しかし、同時に学ばせて頂いたことも多く、日々のリハビリ業務のみならず、来年の学会発表に向けても、今回の学会参加は大変いい刺激となりましたし、研究の重要性も肌で感じる事が出来ました。

ちなみに、これらの写真は樋口が撮影しました。これもまた、いい経験ですし、終わった後に皆で食べた“しろくま”も“黒豚さん”も楽しい経験となりました。



日本股関節学会に参加して&鹿児島グルメ温泉旅行

看護師 福田暁子 松尾洋子



10月7・8日に鹿児島で行われた第38回日本股関節学会で昨年から取り組んできた看護研究の発表をしました。

看護研究とは、看護の視点から科学的根拠を明らかにして、法律性を見出し、看護の学問領域における理論的な位置付けを確立することを目標に行われる学問です。簡単に言うと、より良い看護を患者様に提供するため、看護師間で行う研究の事です。

当センターのナースは、病棟の勤務だけでなく、外来や手術室での勤務も兼任しているため、病棟勤務が続かないナースもいます。どのナースでも人工関節手術を受けられた患者様に同じように術後指導が出来るように研究し、取り組んだ成果を発表してきました。

人工関節センターが開設されて初めての研究・初めての発表であり、課題は多くありますが、他の病院の看護研究の発表を聞いたり、看護内容を確認出来たのは良い経験となりましたので、今後も研究を重ね患者様により良い看護が提供できるように努めていきたいと思っています。



学会といえば、やはり楽しみは各地方に行けて、更には各地の名産品を食べられるということです。今回は鹿児島、美食の宝庫です！



8日土曜日のセンター長の発表を終え、学会発表という緊張から解放された私達は、ルンルンで観光へ出発！まずは、桜島へフェリーで渡りました。噴火してる桜島は、間近で見るととても迫力があって、ちょっと怖かったです。火山灰は鹿児島市内にもいっぱい積もっていて、道路は灰だらけ。それを見た樋口PTは「鹿児島って砂が多いんだね。」って言っていました。しかし、砂って…(笑)

市内では発表のご褒美にセンター長が『しろくま』をご馳走してくれ、



夜は黒豚しゃぶしゃぶをみんなで食べました。六白黒豚という種類のブランド豚さんです。蕎麦つゆで食べるしゃぶしゃぶは、人生初でしたが、ゆず胡椒のピリ辛とマッチして、芋焼酎との相性も良く、えもいわれぬ美味しさです。



鹿児島と言えば、温泉♪学会終了後、温泉に行くことが出来ました。関西労災病院の大園副院長オススの指宿にある温泉の露天風呂からは180度以上広がる海のパンoramaを見ることができ、奇岩の竹山、海から突き出た俣川洲(またごし)と言う島、開聞岳、対岸の大隅半島まで遠望できました。天気の良い日は屋久島まで見えるそうです。



そんなこんなで日本股関節学会は、発表もうまくいき、勉強になった上に、グルメも温泉も楽しめとても良い経験となりました。

